



TBSテレビが上海 SMG と関係を強化

TBS テレビは 13 日、中国の上海メディアグループ SMG との間でドラマ、バラエティなどのコンテンツやイベントなど、様々な分野での協力関係を一層強化していくことで合意しました。

上海で行われた会談には、TBS から信国一朗常務取締役と、上海廣播電視台(上海ラジオテレビ局)の台長で、正式社名＝上海東方伝媒集団(SMG)のトップである裘新(キウウ・シン)総裁が臨み、観月ありさ主演のドラマ『おひとりさま』(2009年10月金曜ドラマ)など、女性視聴者をターゲットとした複数のドラマ購入で合意文書を交換しました。またバラエティ番組『ウンナンのホントコ!』内の恋愛企画としてヒットした「未来日記」(1999年～2002年放送)についても、フォーマットの共同制作を進めることで合意しました。

この合意について上海 SMG 側は「着実な第一歩を踏み出した」としており、TBS は、今後、SMG と映画やアニメ、イベントなどの分野でも協力関係の強化を積極的に進めてまいります。

以上

【経緯】

TBS は 1970 年代に SMG の前身である上海電視台と交流を始めて以来、長く友好的な交流を続けてきており、2002 年には SMG の衛星チャンネルの日本での放送の立ち上げに TBS が協力したほか、2003 年には「唐招提寺プロジェクト」の一環として、上海で「鑑真和上写真展」を SMG と共同開催した。2009 年に正式な協力協定を結び、それ以来、ドラマのリメイクなど制作協力の可能性を探る一方、今年初めには『JIN－仁－』などのヒット作を手掛けた石丸彰彦プロデューサーを上海へ派遣するなど SMG のドラマ制作の制作力向上にも協力してきた。また、BS-TBS で毎週放送されている日中初のレギュラー情報番組『東京★上海流行通信～楽活好正点』も、SMG・星尚チャンネルと共同制作されている。

【上海東方伝媒集団(SMG)について】

上海メディアグループ(SMG)は、中国で最も影響力を持つメディアグループの一つで、テレビ・ラジオをメイン業務とするほか、芸能マネジメント、スポーツ産業、技術サービス・開発、エンターテインメントへの投資事業など関連業務にも力を注いでいる。現在、14 のTVチャンネル(地上波:4・ケーブルチャンネル:8・衛星放送:2)、11 のラジオ局、31 有料デジタル放送、ブロードバンドネット放送、新聞・雑誌4種、スポーツ団体 3 団体を一括運営している。

【TBS 海外番販について】

TBS は'60年代以降50年あまりにわたり海外番販に積極的に取り組んでおり、特に「フォーマット番販」の分野では世界的にも草分け的存在。これまでに米 Bellon Entertainment 社と共同で、世界 150 ヶ国以上で 200 種類近く、数千話に及ぶ「フォーマット番販」による TBS 番組の各国版制作を実現しており、各国で国民的な人気を博した(博している)番組も多数。またドラマやアニメなど全ジャンルの番組や映画も販売しており、累計販売実績は、世界 5 大陸 150 ヶ国以上、数百タイトル、数万話に及び、テレビ、映画共に「コンテンツ・プロバイダー」としても世界におけるプレゼンスを増している。